枕崎小学校６年生「集団行動」で全国優勝

日本体育大学の学生が一糸乱れぬ行進で、芸術的な光景を作り出す伝統のパフォーマンス「集団行動」。その集団行動に全国の小学生が挑戦し、発表をする大会が２０１２年より開催されています。２０１３年は、昨年11月24日に横浜市で開催され、枕崎小学校６年生の児童が出場しました。

選手選抜

当初は、６年生全員が出場できる予定でした。しかし、練習開始から約1カ月が過ぎたころ、大会要項が変更となり、補欠を含む43名を選抜しなければならなくなりました。

7月2日、発表会へ出場する児童を選ぶための選考会が、外部選定委員を招いて、同校体育館で行われました。

児童は発表会出場を目指し、これまでの練習の成果を発揮しようと、真剣な表情で選考会に臨んでいました。選考会を終え、結果を聞く児童たちの表情は、意外にも淡々としたものでした。発表が終わると、選ばれた児童も選ばれなかった児童も、緊張していた表情は和らぎ、お互いの頑張りを称え合っていました。

選定委員を務めた、市保健体育課の久保等課長は、当時の事を「子どもたちの集団行動に対する熱い気持ちと、行動様式の演技に圧倒され、レベルの高さに感激しました」と話しました。

練習の成果を披露

夏休み返上で練習が行われ、数えきれないほどの歩数を児童は歩いてきました。その成果は、枕崎小学校運動会と市民運動会で披露されました。6年生98人の一糸乱れぬ動きに、会場からは惜しみない拍手が送られました。

また、大会直前の11月21日には、総合体育館で本番と同じ演技が披露されました。

いよいよ発表会本番

11月23日、出発の日。学校の校庭で出発式が行われ、多くの保護者や同級生の児童が集まり、出場児童にエールが送られました。

バス、飛行機、バスと乗り継ぎ、発表会会場に到着。体験したことのない会場の広さに、児童は驚きと不安の表情を見せていました。リハーサルでは動きの細かな部分まで入念にチェックし、翌日の本番に備えました。

24日、本番当日。早朝から宿泊先のホテルの部屋では児童の髪のセットがあわただしく行われていました。畦元千穂子先生が「日体大の人たちみたいに、見た目もかっこよくいこう」と発案し、髪型もそろえることにしました。横浜まで応援に駆けつけた保護者らが、祈りを込めて子どもたちの髪をセットしていました。

ホテルを出発し、バスの中では、歩くリズムの確認などのイメージトレーニングをしながら会場到着までの時間を過ごしました。

開会式が始まり、発表順を決める抽選会が行われました。クジを引いたのは、発表会当日が誕生日という山口侍斗（しゅうと）くん。4番目にクジを引き、1・3・5番が残る中、3番を引き当て、子どもたちは「1番じゃなくてよかった…」と、少しホッとした表情をみせていました。

▲子どもたちの髪をセットするお母さんたち

出場校による発表が始まり、ついに枕崎小学校の出番です。子どもたちは「お願いします」と大きな声でフロアに一礼し、最初の立ち位置へ走り出していきました。枕崎から駆けつけた観客席の応援団も、児童手作りの応援うちわや豆かつおのぼりなどの応援グッズを手に、子どもたちに「頑張れ」と声をかけます。学校の紹介がアナウンスされ、指揮者の池優希さんの号令で子どもたちは「ヤー！」と元気よくフロア中央へ走り出しました。演技の始まりです。指揮者の池さんの号令に従い、点呼・礼・行進・交差など、すべての動きできびきびとした一糸乱れぬ動きを見せ、目立ったミスもなく演技を終えました。

演技終了後、さまざまな角度から撮った映像が、体育館のモニターに映し出され、児童は自分たちの演技をじっと見つめます。そして、審査員4名による採点結果の発表です。モニターに採点結果が映し出され、枕崎小学校は１８４点と暫定1位の得点を獲得。その瞬間、児童と応援団の喜びは爆発し、感動の涙を流す人もたくさんいました。

▲児童が作った応援うちわ

残り3校の演技が終わり、最後の学校の採点結果を子どもたちは祈りながら待ちました。そして、モニターに最後の学校の採点が映し出され、枕崎小学校の優勝が確定しました。その瞬間、緊張していた表情は笑顔に変わり、一緒に頑張った仲間たちや観客席の応援団と喜びを分かち合いました。

出場校全校の演技終了後には、日本体育大学の学生による演技も披露され、レベルの高い演技を目の当たりにした子どもたちは、驚きの表情を見せていました。

その後、表彰式が行われ、賞状とトロフィーが贈られました。また、最優秀指導者賞に同校の畦元千穂子先生が選ばれ、枕崎小学校はダブル受賞となりました。

畦元先生は「私ひとりでいただいた賞ではなく、一緒に指導してくれた6年担任の棚治先生と右田先生、校長先生を始め、すべての先生方、そして何よりも温かく支えてくださった保護者や地域の方々のおかげです。頑張った子どもたちを含め、全ての人たちに感謝しています」と話しました。

集団行動から学んだもの

枕崎小学校の麓純雄校長は、「教員・児童ともに一生懸命頑張り、お互いの絆を深め、確かめ合って真の仲間になれた時でした」と、集団行動に取り組んだ期間を振り返ります。また、その雰囲気は6年生だけではなく、あいさつがよくなったなど他の学年の児童にもいい影響を与えたそうです。

もうすぐ卒業を迎える6年生にとって、集団行動で得たさまざまなものが、一生の宝となるのではないでしょうか。また、子どもたちの一生懸命取り組む姿は、周りで見ていた私たちに大人に、大きな感動を与えてくれました。

大会結果

学校名	得点
枕崎市立枕崎小学校（鹿児島）	184点
苅田町立南原小学校（福岡）	162点
町田市立小山田南小学校（東京）	161点
大仙市立神岡小学校（秋田）	156点
八王子市立弐分方小学校（東京）	153点
玉東町立山北小学校（熊本）	150点